

平成13年6月25日
資源エネルギー庁
経済産業局
沖縄総合事務局経済産業部



「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」の開催について

標記シンポジウムを、平成13年8月から9月にかけて、別紙1及び2のとおり9回開催することといたしました。それに伴い、一般参加者を別紙3のとおり募集いたしますのでお知らせいたします。

本シンポジウムは、資源エネルギー庁及び経済産業局、沖縄総合事務局経済産業部の共催により、全国9カ所をリレーして行い、第1回関東（東京）、第2回九州（福岡）、第3回近畿（大阪）、第4回東北（仙台）、第5回北海道（札幌）、第6回北陸（富山）、第7回中国（広島）、第8回中部（名古屋）、第9回四国（高松）にて開催することを予定しています。

（別紙1）

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」の開催について

（別紙2）

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」第1回～第9回の開催概要について

（別紙3）

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」第1回～第9回の一般参加者の募集について

（別紙4）

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」第1回～第9回の取材を希望される報道関係の皆様へ

以上

問い合わせ先

経済産業省 資源エネルギー庁

放射性廃棄物対策室 伊藤、小田切

〒100-8931 東京都千代田区霞が関1-3-1

TEL:03-3501-1511（内4771）

FAX:03-3580-8447

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」の開催について

1. 趣 旨

原子力発電は、エネルギー資源の大部分を輸入に依存している我が国が、今後とも環境を守りながら持続的な経済発展を続けていくための手段の一つとして利用され、発電量の約3分の1を占めています。

この原子力発電は、他の発電方式に比べて、燃料の価格や供給面で安定していること、発電の過程で地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないことなどの特徴がある一方で、その利用にともない高レベル放射性廃棄物が生じます。

高レベル放射性廃棄物の処分は、原子力を利用した我々の世代が取り組まなければならない課題であり、国民の皆様がこの問題について理解していただき、幅広い議論が行われることが必要です。

高レベル放射性廃棄物の処分については、昨年、処分制度の枠組みを定める「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」が成立し、処分実施主体が設立されるとともに、研究開発や安全規制の面においても進展が見られたところです。また、処分に取り組むにあたっては、国民の皆様の理解を得ることが重要であるとの指摘が重ねてなされています。

これらの状況を踏まえ、高レベル放射性廃棄物に関する諸問題や処分に関する取組状況等について議論を行うことを通じて、国民の皆様に関心を持っていただくよう、資源エネルギー庁及び経済産業局、沖縄総合事務局経済産業部の共催により、全国9カ所をリレーして「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」を行います。

2. 開催計画

回数	日 程	地 域	会 場
第1回	平成13年8月1日(水)	関東(東京)	JAビル 国際会議室
第2回	平成13年8月7日(火)	九州(福岡)	イムズ イムズホール
第3回	平成13年8月10日(金)	近畿(大阪)	大阪国際会議場 1003会議室
第4回	平成13年8月22日(水)	東北(仙台)	仙台市民会館 展示室
第5回	平成13年8月25日(土)	北海道(札幌)	札幌サンプラザ 金枝の間
第6回	平成13年8月29日(水)	北陸(富山)	タワー111スカイホール 多目的ホール
第7回	平成13年9月4日(火)	中国(広島)	広島商工会議所 101会議室
第8回	平成13年9月8日(土)	中部(名古屋)	東別院会館 東別院ホール
第9回	平成13年9月13日(木)	四国(高松)	高松商工会議所 大ホール

3. 参加予定者

- (1) パネリスト (5名：原子力発電環境整備機構、電力会社、地元有識者、青年層)
- (2) アドバイザ (2～3名：学識経験者)
- (3) 一般参加者 (150名程度を公募。全体意見交換時に質疑・意見発表を行うことにより議論に参加できます。)
- (4) コーディネータ
- (5) 主催者代表 (資源エネルギー庁)

4. 議事進行

議 事	時 間【目 安】	備 考
1. 開 会	13:30-13:40 (10分)	
2. 高レベル放射性廃棄物 処分に關する概況説明	13:40-14:05 (25分)	資源エネルギー庁及び原子力発電 環境整備機構による説明
3. パネリスト意見発表	14:05-14:25 (20分)	1名5分程度
<休 憩>	14:25-14:40 (15分)	
4. 全体意見交換	14:40-15:55 (75分)	パネリストによる意見交換 一般参加者による質疑・意見発表
5. 閉 会	15:55-16:00 (5分)	

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム 2001」

第1回～第9回の開催概要について

◎第1回関東（東京）

1. 日時・会場

平成13年8月1日（水） 13:30～16:00（13:00開場）

J Aビル 国際会議室（8階）



東京都千代田区大手町1-8-3

地下鉄丸ノ内線「大手町駅」A3又はA1
出口直結

2. 参加予定者（敬称略）

(1) パネリスト（5名）

おもと 尾本	あきら 彰	東京電力株式会社原子力技術部長
きむら 木村	ひろし 浩	東京大学大学院工学系研究科 システム量子工学専攻博士課程3年
さとう 佐藤	みえ みえ	核のゴミキャンペーン
すずき 鈴木	みちお 康夫	原子力発電環境整備機構専務理事
たなか 田中	やすまき 靖政	学習院大学法学部教授

(2) アドバイザ（2名）

かんだ 神田	けいじ 啓治	京都大学大学院エネルギー科学研究科教授
とくやま 徳山	あきら 明	富士常葉大学学長

(3) 一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

(4) コーディネータ

おざわ 小沢	りょうこ 遼子	社会評論家
-----------	------------	-------

(5) 主催者代表

やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

◎第2回九州（福岡）

1. 日時・会場

平成13年8月7日（火） 13:30～16:00（13:00開場）

イムズ イムズホール（9階）



福岡県福岡市中央区天神1-7-11

地下鉄「天神駅」から徒歩5分、西鉄
「福岡駅」から徒歩2分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

うの 宇野	かつひこ 克彦	九州電力株式会社原子力発電本部 原子力建設部燃料サイクルグループ長
おおたに 大谷	あゆこ 鮎子	女性の暮らし研究所所長
おくしま 奥嶋	あきあき 文章	九州大学大学院比較社会文化学府修士課程1年
ますだ 増田	すみお 純男	原子力発電環境整備機構理事
よしおか 吉岡	ひとし 斉	九州大学大学院教授

（2）アドバイザー（3名）

おくむら 奥村	ゆたか 寛	長崎大学医学部教授
こじま 小島	けいじ 圭二	地圏空間研究所代表
とりい 鳥井	ひろゆき 弘之	日本経済新聞社論説委員

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

やまもと 山本	かよ 華世	テレビキャスター
------------	----------	----------

（5）主催者代表

やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

◎第3回関西（大阪）

1. 日時・会場

平成13年8月10日（金） 13:30～16:00（13:00開場）

大阪国際会議場 1003会議室（10階）



大阪府大阪市北区中之島5-3-51

JR環状線・阪神電車「福島駅」、地下鉄
「阿波座駅」、JR東西線「新福島駅」
から徒歩10分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

おかもと 岡本	みつお 光雄	関西電力株式会社原子力事業本部 原子力環境技術グループ部長
きたはま 北濱	ひでこ 榮子	大阪大学助教授／生活科学研究会 ザ・ニューウェーブ代表
みんどう 近藤	ひろこ 寛子	京都大学大学院エネルギー科学研究科 エネルギー社会・環境科学専攻修士課程2年
アイリーン・ みづこ 美緒子・スミス		グリーン・アクション代表
たけうち 竹内	しげんや 舜哉	原子力発電環境整備機構理事

（2）アドバイザー（2名）

かんだ 神田	けいじ 啓治	京都大学大学院エネルギー科学研究科教授
とくやま 徳山	あきら 明	富士常葉大学学長

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

やまもと 山本	かよ 華世	テレビキャスター
------------	----------	----------

（5）主催者代表

やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

◎第4回東北（仙台）

1. 日時・会場

平成13年8月22日（水） 13:30～16:00（13:00開場）

仙台市民会館 展示室（地階）



宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘公園4-1

市営バス「仙台駅前」29番乗場から交通局・大学病院前行き15分「市民会館前」下車、地下鉄「勾当台公園駅」から徒歩10分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

きりしま 桐島	あさら 陽	東北大学大学院工学研究科 量子エネルギー工学専攻博士課程後期1年
しみず 清水	しゅうじ 修二	福島大学経済学部教授
はせがわ 長谷川	こういち 公一	東北大学大学院文学研究科教授
ますだ 増田	すみお 純男	原子力発電環境整備機構理事
ほか、東北電力株式会社から1名		

（2）アドバイザー（2名）

こじま 小島	けいじ 圭二	地圏空間研究所代表
とりい 鳥井	ひろゆき 弘之	日本経済新聞社論説委員

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

おぼわ 小沢	りょうこ 遼子	社会評論家
-----------	------------	-------

（5）主催者代表

やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

◎第5回北海道（札幌）

1. 日時・会場

平成13年8月25日（土） 13:30～16:00（13:00開場）

札幌サンプラザ 金枝の間（2階）



北海道札幌市北区北24条西5丁目

地下鉄南北線「北24条駅」から徒歩1分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

さとう	せいち	北海道大学大学院工学研究科教授
佐藤	正知	
すずき	みちお	原子力発電環境整備機構専務理事
鈴木	康夫	
ふじた	まさひろ	北海道大学大学院文学研究科
藤田	政博	人間システム科学専攻修士課程2年
むらかみ	としひろ	北海道電力株式会社原子力部長
村上	俊浩	
やまうち	りょうじ	旭川大学大学院教授
山内	亮史	

（2）アドバイザー（2名）

とくやま	あきら	富士常葉大学学長
徳山	明	
なかむら	まさお	元読売新聞社論説委員
中村	政雄	

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

おざわ	りょうこ	社会評論家
小沢	遼子	

（5）主催者代表

やまがた	ひろし	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
山形	浩史	

◎第6回北陸（富山）

1. 日時・会場

平成13年8月29日（水） 13:30～16:00（13:00開場）

タワー111スカイホール 多目的ホール（3階）



富山県富山市牛島新町5-5

JR「富山駅」北口から徒歩3分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

こめま 小沼	あつし 敦嗣	富山大学大学院理工学研究科博士課程前期化学専攻1年
さかもと 坂本	こう 浩	日本放射化学会副会長・金沢大学名誉教授
たけうち 竹内	しゅんや 舜哉	原子力発電環境整備機構理事
ろん 龍	しーしゅん 世祥	金沢経済大学経済学部助教授

ほか、北陸電力株式会社から1名

（2）アドバイザー（2名）

しかむの 鹿園	なかつたつ 直建	慶應義塾大学理工学部応用化学科教授
とりい 鳥井	ひろゆき 弘之	日本経済新聞社論説委員

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

おさむ 小沢	りょうこ 遼子	社会評論家
-----------	------------	-------

（5）主催者代表

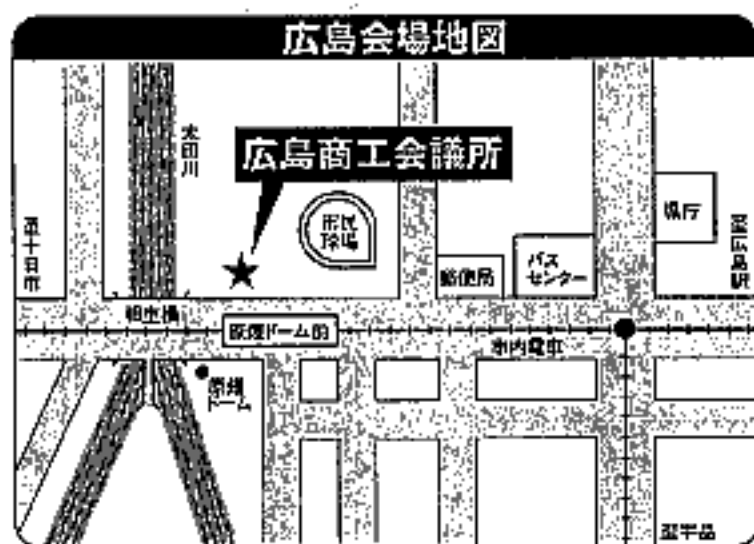
やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

◎第7回中国（広島）

1. 日時・会場

平成13年9月4日（火） 13:30～16:00（13:00開場）

広島商工会議所 101会議室（1階）



広島県広島市中区基町5-44

JR広島駅南口から市内電車の宮島・己斐・江波行き15分「原爆ドーム前」下車

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

きほら	しょうじ	原発はごめんだヒロシマ市民の会代表
木原	省治	
ほんだ	なおこ	広島大学大学院国際協力研究科開発科学専攻修士課程2年
本田	直子	
ますだ	すみお	原子力発電環境整備機構理事
増田	純男	
やまおか	きよのり	岡山大学医学部助教授
山岡	聖典	
ほか、中国電力株式会社から1名		

（2）アドバイザー（3名）

くさま	ともこ	大分県立看護科学大学学長
草間	朋子	
なかむら	まさお	元読売新聞社論説委員
中村	政雄	
やまざき	はるお	東京都立大学大学院理学研究科地理科学専攻教授
山崎	晴雄	

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

やまもと	おと	テレビキャスター
山本	華世	

（5）主催者代表

やまがた	ひろし	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
山形	浩史	

◎第8回中部（名古屋）

1. 日時・会場

平成13年9月8日（土） 13:30～16:00（13:00開場）

東別院会館 東別院ホール（3階）



愛知県名古屋市中区橋2-8-55

地下鉄名城線「東別院駅」4番出口から
徒歩3分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

おおた	かずこ	愛知県生活学校連絡会会長
太田	和子	
おかやま	ともこ	名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻博士課程1年
岡山	朋子	／環境カウンセラー
すずき	みちお	原子力発電環境整備機構専務理事
鈴木	康夫	
つちだ	あつし	名城大学経済学部教授
槌田	敦	
みずたに	りょうすけ	中部電力株式会社原子力管理部部長
水谷	良亮	

（2）アドバイザー（2名）

こじま	けいじ	地圏空間研究所代表
小島	圭二	
なかむら	まさお	元読売新聞社論説委員
中村	政雄	

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

やまもと	かよ	テレビキャスター
山本	華世	

（5）主催者代表

やまがた	ひろし	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
山形	浩史	

◎第9回四国（高松）

1. 日時・会場

平成13年9月13日（木） 13:30～16:00（13:00開場）

高松商工会議所 大ホール（2階）



香川県高松市番町2-2-2

JR「高松駅」から徒歩10分

2. 参加予定者（敬称略）

（1）パネリスト（5名）

あさじ 浅地	けいこ 恵子	会社員
おおた 太田	かつみ 克己	四国電力株式会社常務取締役原子力本部長
おおたに 大谷	しんじ 伸二	愛媛新聞社論説副委員長
たけうち 竹内	しゅんや 舜哉	原子力発電環境整備機構理事
はせがわ 長谷川	よしひと 義人	善通寺市市議会議員

（2）アドバイザー（3名）

おおもち 大桃	よういちろう 洋一郎	財団法人環境科学技術研究所理事長・所長
たかはし 高橋	まさき 正樹	日本大学文理学部地球システム科学科教授
なかむら 中村	まさお 政雄	元読売新聞社論説委員

（3）一般参加者

150名程度を公募いたします（別紙3参照）。

（4）コーディネータ

なかむら 中村	ひろみ 浩美	科学ジャーナリスト
------------	-----------	-----------

（5）主催者代表

やまがた 山形	ひろし 浩史	資源エネルギー庁放射性廃棄物対策室
------------	-----------	-------------------

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」 第1回～第9回の一般参加者の募集について

標記シンポジウムの各回の一般参加者を150名程度募集いたします。

一般参加者の方は、全体意見交換時に質疑・意見発表を行うことにより議論に参加できます。

なお、希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。

1. 応募方法

本シンポジウムの一般参加を希望される方は、開催地（都市名）、郵便番号・住所（参加券の送り先）、氏名（ふりがなを付けて下さい）、年齢、性別、職業、電話番号を明記の上、下記あてにはがき、またはFAXにてお申し込み下さい。なお、1通の申し込みで4名様まで同時に応募できます。ご家族・ご友人同士でお誘い合わせの上、お気軽にお申し込み下さい。

また、下記の「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」のホームページからも申し込みができます。

- ◆あて先：〒100-0004 東京都千代田区大手町2-3-6
三菱総合研究所ビルディング内
高レベル放射性廃棄物シンポジウム事務局 参加者係
- ◆ファックス番号：0120-327-761
- ◆ホームページ：<http://www.atom-enecho.meti.go.jp/atom/hlwsympo2001/>

2. 締切り

締切りは、各回ごとに以下に示す日まで（必着）とさせていただきます。

第1回関東（東京）	平成13年7月23日（月）
第2回九州（福岡）	平成13年7月25日（水）
第3回近畿（大阪）	平成13年7月30日（月）
第4回東北（仙台）	平成13年8月9日（木）
第5回北海道（札幌）	平成13年8月13日（月）
第6回北陸（富山）	平成13年8月16日（木）
第7回中国（広島）	平成13年8月23日（木）
第8回中部（名古屋）	平成13年8月27日（月）
第9回四国（高松）	平成13年9月3日（月）

希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。応募者への結果の通知は、はがき（当選された方は参加券）の発送をもってかえさせていただきますので、電話等による結果の確認はご遠慮下さい。

* 本シンポジウムは、インターネット・ビデオ等を通じて複製・公表等による利用をさせていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

高レベル放射性廃棄物シンポジウム事務局

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-6

三菱総合研究所ビルディング内

TEL:0120-327-760

FAX:0120-327-761

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」

第1回～第9回の取材を希望される報道関係の皆様へ

1. 取材を希望される報道関係の皆様のご傍聴につきましては、原則各社1名とし、各回ごとに以下に示す日まで(必着)に、別添の返送先に対し事前登録して下さい。登録の際は、貴社名、傍聴者名、カメラ(VTRあるいはスチルカメラ)の持ち込みの有無(カメラ等の担当者が入場される場合には、入場人数)等を、別添の様式によりFAXにてご連絡下さい。

第1回関東(東京)	平成13年7月23日(月)
第2回九州(福岡)	平成13年7月25日(水)
第3回近畿(大阪)	平成13年7月30日(月)
第4回東北(仙台)	平成13年8月9日(木)
第5回北海道(札幌)	平成13年8月13日(月)
第6回北陸(富山)	平成13年8月16日(木)
第7回中国(広島)	平成13年8月23日(木)
第8回中部(名古屋)	平成13年8月27日(月)
第9回四国(高松)	平成13年9月3日(月)
2. 当日は、ご本人であることを確認できるもの(社員証、運転免許証等)を会場の報道関係者受付にてご提示のうえ、開会1時間前から30分前までの間に受付を済ませて入場して下さい。
3. 入場の際に受付にて安全ピンの付いたバッジをお渡ししますので、会議が行われている間はそれを上着の左胸等確認しやすい位置に付けておいて下さい。カメラ、照明等を担当される方は、腕章等により身元を確認できるようにして下さい。
4. 傍聴される方は、お渡しするバッジと同色の紙を貼った席をご用意しておりますのでそちらに着席して下さい。着席は開会5分前までにお願いします。
5. カメラによる取材のために、カメラスペースを用意いたします。カメラによる取材は、議事の妨げにならないよう、事務局の指示に従い、設定されたカメラスペース内でお願いいたします。
6. 議事進行中の会場内での参加者への取材はご遠慮願います。
7. 会場内では事務局の指示に従って下さい。
8. 退場する際は、お渡ししたバッジを受付で返却して下さい。

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム2001」第1回～第9回

— 報道関係取材申し込み票 —

◆開催地

(都市名)：

◆貴社名：

◆所 属：

◆^{ふりがな}ご芳名：

◆連絡先： (勤務先住所)

(電話番号)

(FAX番号)

◆カメラ取材の有無：

有 [カメラ (VTR・スチル)] ・無

(いずれかに○をご記入ください。)

◆上記以外の入場者の

^{ふりがな}
ご芳名：

問い合わせ先・返送先

経済産業省 資源エネルギー庁

放射性廃棄物対策室 伊藤、小田切

〒100-8931 東京都千代田区霞が関1-3-1

TEL:03-3501-1511 (内4771)

FAX:03-3580-8447